

森のたより



雪も綺麗で、キラキラと輝いていて、午前中には雪の結晶が見られるほどです。また、春を待つ木々の芽の観察や、動物たちの痕跡・アニマルトラッキングも楽しめます。

今年の冬はスノーシューデビューしてみたいかでしょうか。

冬の森林セラピー

秋の紅葉も終わり、次第に冬の足音が近づいてきました。「飯南町ふるさと森」も広葉樹は葉が落ち、木の実なども少なくなりました。少し寂しい気もしますが、冬でも冬なりの楽しみがあるのが飯南町の森林セラピーです。

冬季・積雪時には、スノーシューでのご案内になります。スノーシューは「西洋かんじき」のことで、トレッキングシューズや長靴などに装着し、雪の中でも沈まず快適に散策できます。昨年から大人用・子ども用のスノーシューを増やし、ご家族や団体でも楽しめるようになっていきます。

冬の森林セラピーの醍醐味は、未踏（動物以外）の白銀世界を散策すること。



動物たちの気配...



白銀の森を独り占め



春を待つ植物の息吹を感じる



雪の中でも快適！「スノーシュー」

まちを元気に！地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、任期終了後の隊員の活躍を紹介します。



オンライン研修で事例発表をする竹田佑子さん

平成24年10月から3年間、青空市ぶなの里で勤務した竹田佑子さん。任期中は、近隣の産直市との連携イベントを企画するなど、産直市の魅力アップに取り組みしました。任期後は飯南町役場の正規職員となり、現在は雲南市・飯南町事務組合（派遣）で働いています。

12月1日には、県内の隊員向けのセミナーで事例発表をする予定です。



正月用の大黒じめを編む霧生友孝さん

霧生友孝さんは、平成27年4月から3年間、飯南町大しめなわ創作館で勤務しました。任期後も飯南町注連縄企業組合に就職し、出雲大社に奉納した日本一の大しめ縄の制作にも携わりました。大しめ縄の重要なパーツである化粧縄の制作を担当し、日々技術を高めています。伝統技術を受け継ぐ後継者の一人として期待されています。

地域おこし協力隊の任期である3年が経過した後も、多くの隊員が町内で就業しながら地域に貢献しています。

短歌

頓原公民館短歌教室 十一月詠草

ついにきた八十路の坂に戸惑いと明るい日差しに秋の深まる 安部 徳則
 舗装路の割れ目に小さな紫蘇生えて小さきながら実をつけおりぬ 石川 隆
 紅葉を眺める吾はしあわせよ神話街道なごみの季なり 岡田 繁富
 よろこびも哀しみも吾が身の内に収めて赤き彼岸花燃ゆ 景山サチ子
 そば畑一面に賑わいてコロナに負けず年越しを待つ 景山 稔
 車窓から鈴なりの柚子ながめつつ古ひこの言い伝え浮かぶ 景山 牧栄
 ありがとう夫の言葉を思い出す話しかけても心えぬ遺影 片岡 千鳥
 新しき爪痕残し柿を食うこの木覚えし熊のおとつれ 塩田美代子
 爪切りを見つけしひ孫は手を出して爪を切つてと吾の膝に寄る 千葉トミエ
 湧く如き淋しさ覚ゆ小春日の丘に登りて口笛吹けば 藤原 正
 咲き終えて繁れるばらの枝先に密かに一輪鮮やかな紅 本間 啓美
 久々の長生き体操武骨なりからだの節々が入る 三上 朋子
 まだ暗き暁まえや賑やかにカアカアと騒ぐ冷気の朝 山本 正敏

すこやか

11月届出分

新生児 弘生 彰 弘 (赤色)

やすら

11月届出分

お名前 親族 地区
 渡邊 一雄 靖 雅 (上赤色)
 落合 理之 影山慎治 (奥畑)
 南部 信子 隆 文 (赤色)
 小泉 文夫 葉子 (野萱)
 藤原 ミヨノ 弘 紳 (川東)
 三上 住子 忠 (小田)
 加瀬部 チヨノ 正二 (奥畑)
 土山 敦子 征司 (上区)

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

ほんとはね
 はやくいいたい
 ごめんなさい

来島小2年 三島 颯馬さん
 家族名 三島 志織さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今月の表紙

11月28日、旧小田小学校の校庭でイルミネーションの点灯式が開催されました。(1月中旬まで点灯) 暗くて寒い校庭に集まるたくさんの人たち。点灯と同時に、温かそうな光が校庭と訪れた人々たちを照らしました。

このまちにはこのまちの楽しみ方がある。そう実感させられた瞬間でした。

